

四倉小の創立八十周年 教育功勞者を表彰

記念碑の除幕式執行

四倉小學校PTA及び同窓会では本校創立八十周年を迎えるに当たり記念式典を町役場、教育委員会、その他各種団体後援のもとに十二月一日盛大に挙行することになったが、多彩な行事は一般町民より期待されている。先づ行事としては記念除幕式、続いて同校講堂にて記念式典、教育功勞者及び永年勤続者の表彰などが行われ、午後は校歌及びピアノ披露音楽会(町内小、中、高校の音楽部、遊戯、器楽等の発表)を催す。特に校歌の作詞者古關明大教授及作曲者岡本国立音楽學校教授の紹介と岡本教授夫人の模範ピアノ演奏がある。又記念式典(小學校全児童の圖画及工作、習字)が開かれ、会場には同校PTA婦人部の食堂が設けられ、教育功勞者及び永年勤続者は次の通り。
 教育功勞者：鈴木賢司、新妻盛、速原保太郎、皆他他船橋和丸(全町古港)

イワシ景氣到来

小名濱に十一万貫水揚げ

「サンマ」漁に賑わって、小名濱港も月夜越しの関係より水揚げが減少し、二十八日は約一萬貫程度であったが「イワシ」は十二万貫と近年にない大量水揚げの加工業者はイワシ景氣到来とばかり馬力をかけている。これに前後して、イワシ漁船は約百七十隻あり、

水素の総合展 書道部に寄す

何も彼も自書を満足な目で見ると、その短所がわからぬのである。これを発見する事が積み重ねられてはならぬ。精神さえもつとていれれば必ず成し難いことでない。「人の振りみて我が直せ」の言葉はよく自分の短所を知れとの語にふさわしい。次回にはより傑出した作品、すばらしい創作に接して廻ると本物の佳さが自

大山都夫氏の講演會

大山都夫氏による「平和のための」講演會は平和擁護委員会講演會実行委員会の主催により来る十二月六日午後一時より平南公會堂にて開かれる。なお講演會終了後高良とみ女士が中絶より持ち歸

産米自由販賣に注意

縣、個人の供米完遂後

産米の自由販賣問題は種々取沙汰され、統制撤廃云々と誤傳されて供米も大きな影響を興えている向がある。ので石炭食糧事務所では各農家に通達を配布して考慮を促している。それに依ると細部決定には至っていないが、省令の規定では全縣の割當が完遂して、各農家が自分の割當を完納した場合には自由、自由、自由、自由の選擇をする資格が興えられるのである。此れに準じて自由販賣した場合は食糧法第九條並びに三十一條によつて罰則が加えられることとなる。

菊多方部の柔道大會

錦町柔道會では本三十日午前九時より羽羽化学館工場講堂にて菊多方部對抗柔道大會を開く。

澤渡方部の辯論予選

平地区警主権第三回青年補選辯論大會澤渡方部予選は二十五日澤渡中学校に於いて開かれ各校の代表十六名が熱辯をふる

「スト」は止めて!

綴方に表れた童心

約三旬に亘つた炭礦ストも常磐炭礦労組の企業別單獨交渉方式に戦術の轉換となるに至り、炭礦の統一戦線より離脱して一應ストを中止して行く。スト執行中組合員で生活に生産に離れていくが、苦にあえぐ者も續出しアルバイトなどによりその日その日を送つていく者も相当多い。またいたいたな子供にもストの反影は大きく響き、小學生の童心をいためることはいない。事実である。

九戸に七九名の申込み

湯本公營住宅

湯本町公營住宅の申込みは九戸に七十九名が殺到する有様で依然として住宅のせまき門の觀を呈している。書類及び申込者の實地調査を行つて入居者を決定する。なお入居者選考には町議會より朝野、普野の兩町議員、本多、浦の兩民生委員と金七厚生課長が當ることとなる。

つたスターリン賞獲得で有名な白毛女」を上映する

つたが審査の結果次の六名が大分出場と決定した
 一位「父母の愛にめぐめ」上「遠藤清隆」(箕輪中二年)
 二位「世の親に訴える」後藤美智子(永戸中二年)
 三位「平和の道を歩む」高橋英子(澤渡中三年)
 四位「築け心でわが日本」根本力男(永井中二年)
 五位「世論に訴える」菊地リキ(箕輪中二年)
 六位「不良化防止対策について」星恵美子(澤渡中三年)

錦町で産米供出を督勵
 錦町の二十七年産米供出割當は六千七百五十俵となつており二十八日現在二千俵の出出がある。町役場及び農業協同組合では早期供出完遂のため、日夜各部落を巡回して座談會を開くなど早く場米供出の督勵に當つて

「生きている」

一九五一年度ヴェニス世界映画賞等數々の受賞に輝く「羅生門」の黒澤明が「白痴」以來一年の沈黙を破る創意溢れる野心得た傑作。僕は時々ふつと自分の死ぬ場面を考へ、するとともてこれでは死に切れない、もつと生きたい、死ぬなら生きてほしい、と評する管見恒夫の言は偉である。

「オハマ街道」

メトロ映画作品西部大活劇二本立上映
 劇と二本立上映
 二日より五日まで

映 映 映

金美館

湯本公營住宅の申込みは九戸に七十九名が殺到する有様で依然として住宅のせまき門の觀を呈している。書類及び申込者の實地調査を行つて入居者を決定する。なお入居者選考には町議會より朝野、普野の兩町議員、本多、浦の兩民生委員と金七厚生課長が當ることとなる。

昭和二十八年 - 1953
 日記帳と年鑑案内

- 博文館発行各種日記
- 鉄道時報局の専門日記
- 土木、建築、電氣、機械
- 化学、農藝、鉄道保線
- ビデネスダイアリー等
- 印刷局発行職員手帳
- 婦人之友社、家計簿、当座帳
- 卓上日記、自由日記各種
- 年鑑 ~ 朝日、毎日
- 兒童年鑑、學生年鑑

小泉屋書店
 小名浜町本町 電話一二二番

祝・大野村公民館落成

<p>大野村役場</p> <p>村長 西山恵一 助役 長谷川義雄 収入役 佐藤善多</p>	<p>大野村公民館</p> <p>館長 西山恵一</p>	<p>大野村立大野中学校</p> <p>校長 千葉正義 大野村立大野第一小学校 校長 渡邊甚作 大野村立大野第二小学校 校長 渡邊政樹</p>	<p>大野村農業協同組合</p> <p>組合長 石井金重郎 専務理事 大間金治</p>	<p>大野村公民館 工事施行者</p> <p>土木建築請負業 西山 忠次 大野村大字玉山字屋敷前</p>
--	-------------------------------------	--	---	---

一級酒
 小名浜町 清水屋酒造店 電話六番